

## 令和5年度 第1回 山梨県社会福祉審議会の審議結果について

## 委員からの意見・質問

## 第2 山梨県地域福祉支援計画の進捗状況について

No.	意見・質問内容	回答
1	<p>○資料1 数値目標一覧</p> <p>①現況値に令和2年度の数値があるが、最新の数値はないのか。</p> <p>②D評価項目に関する意見です。目標番号2「共生社会に対する県民の認知度」の基準値や現況値がどの実績を示したものが確認したい。</p> <p>③目標番号9「福祉サービス第三者評価事業受審施設数」の現況値で若干増加した事業所はどのような評価機関を利用したか確認したい。</p>	<p>①現況値は、各計画の見直しや改定時の調査で得られた結果等を引用していることから、掲載しているものが最新の値となっております。【福祉保健総務課】</p> <p>②やまなし障害児・障害者プランの見直し及び策定に際して、県政モニターにアンケート調査を実施しており、その中の「共生社会という言葉を知っていますか」との質問に対して「知っている」と回答いただいた人数の割合となっております。【障害福祉課】</p> <p>③R元年度以降2件実施されておりますが、R元年度に実施した評価機関は「一般社団法人しなの福祉教育総研」（長野県上田市）、R2年度は「特定非営利法人ライフサポート楽楽（千葉県旭市）」となっております。【福祉保健総務課】</p>
2	<p>○資料1 数値目標一覧</p> <p>・目標番号3「子どもの貧困対策推進に地域ネットワークを構築している市町村数」</p> <p>児童福祉の分野では、地域ネットワーク構築100%達成とのことですが、具体的な運用状況を知りたいと思いました。</p>	<p>子どもの貧困の問題を具体的に取組むことができる会議体・ネットワークとして、子どもの貧困に特化した会議体の創設や、既存の市町村要保護児童対策地域協議会、市町村子ども子育て会議等での対応、また、子どもの少ない地域では対象家庭の状況に応じて関係部署の職員等を集めて対応できる体制などにより、各市町村が主体的に運用しております。【子ども福祉課】</p>
3	<p>○資料1 数値目標一覧</p> <p>・目標番号2「共生社会に対する県民の認知度」</p> <p>心のバリアフリーに関するイベントを企画・実施することを通して広く県民に共生社会の重要性について考えていただく機会を創出していただきたい。</p>	<p>既に行っているイベント内容の見直しを検討したり、よりSNSを活用するなどして、さらに共生社会の重要性を考えていただけるよう工夫して参ります。【障害福祉課】</p>
4	<p>○資料1 数値目標一覧</p> <p>C、D評価の項目について、推進に向け、努力願いたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生社会に対する県民の認知度 イベントの周知にSNSを積極的に活用したり、県庁出張講座などを通じ、共生社会に対する県民の認知度の向上に努めて参ります。【障害福祉課】</li> <li>・ひきこもりサポーター養成研修実施市町村数 各市町村が主体となって養成を行えるよう、山梨県ひきこもり地域支援センターを中心に後方支援を展開していきます。【健康増進課】</li> <li>・福祉サービス第三者評価事業受審施設数 都道府県推進組織である県社会福祉協議会と連携して受審施設数の増加を図るよう努めて参ります。【福祉保健総務課】</li> </ul>

No.	意見・質問内容	回答
5	<p>○資料1 数値目標一覧  ・目標番号6「介護職員数」  介護職員の人数が増加しているが、一層の増加に努力願いたい。</p>	<p>県では、修学資金制度への助成を行うほか、介護福祉総合支援センターを活用し、潜在的有資格者の再就業促進、求人・求職のマッチング機能の強化を行うとともに、介護福祉士養成校と連携し、幅広い世代の県民を対象とした介護の魅力発信事業を実施しております。  今後も引き続き関係機関と連携し、介護職員の確保に取り組んで参ります。  【健康長寿推進課】</p>
6	<p>○参考資料1 具体的な取組一覧  ・計画番号26「東京オリンピック・パラリンピック総合推進事業費」  県スポーツ振興局スポーツ振興課の事業として、令和4年度より山梨県障害者福祉協会に「パラスポーツ・コーディネータ」を配置し、昨年と今年、青少年センターにおいて、パラスポーツ7種目のフェスティバルを実施し、障害者を含めた県民が多数参加している。</p>	<p>参考資料1は、現行の計画に掲載した取り組みに関する実績のため、掲載されておりませんが、今回の改定にあたり次のとおり具体的な取り組みに追加します。</p> <p>基本的施策 ②障害者福祉の推進－ア普及啓発の推進  25. 福祉・教育・競技団体等との連携を中核的に担うコーディネーターを配置し、パラスポーツフェスティバル等によるスポーツ機会の創出や普及強化、また、指導者研修等を通じて、障害者スポーツの振興を図ります。【スポーツ振興課】</p>
7	<p>○資料1 数値目標一覧  ・目標番号2「共生社会に対する県民の認知度」  指標がそもそもあいまいであったのかもしれませんが、「共生社会」という語句の概念が近年、かなり変化してきています。この設問には説明も記されていますが、若干、古い印象も受けます。だから、進捗率が（見かけ上）停滞したのかもしれませんが、「共生社会」という語句ではなく、「障害者差別解消法」や「合理的配慮（の努力義務から法的義務へ）」「障害者権利条約」など、設問で用いるキーワードが異なれば、進捗率は高まったのかもしれませんが。</p>	<p>委員ご指摘のとおり「共生社会」という語句の概念は変化しておりますが、3年に1度の調査内容を変えてしまうと過去のデータとの比較が難しくなる面もありますので、いただいた御意見を今後の調査時の参考にさせていただきます。【障害福祉課】</p>

## 第4 山梨県地域福祉支援計画の改定内容について

No.	意見・質問内容	回答
1	<p>○参考資料1 具体的な取組一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画番号94「孤立死・孤独死対策事業」及び計画番号98「自殺対策総合事業費」</li> </ul> <p>孤独・孤立対策推進法が来年4月から施行され、地方自治体の責務が謳われている。これらを踏まえた記載をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇概要→「孤独・孤立」の文言の明記 等</li> <li>◇法の努力義務→「孤独・孤立対策地域協議会」設置推進 等</li> </ul>	<p>孤独・孤立対策推進法の策定について、「第3章 基本的な考え方」の「1. 基本的な考え方」に国の動向として記載します。</p> <p>【記載内容】</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の流行により実施された行動制限を伴う感染防止対策の影響により、孤独・孤立の問題が深刻化・顕在化するとともに、今後も単身世帯や単身高齢世帯の増加が見込まれ一層の深刻化が懸念されることから、孤独・孤立対策推進法を制定し、国民の理解の増進や多様な主体の自主的活動に関する啓発、相談支援や関係者の連携・協働の促進、当事者等への支援を行う人材の確保・養成・資質向上、地方公共団体や支援を行う者に対する支援等により孤独・孤立対策を安定的・継続的に推進することとしています。（令和6年4月1日施行）</p> <p>この中では、地方公共団体に対し、関係機関等により構成され必要な情報交換及び支援内容に関する協議を行う「孤独・孤立対策地域協議会」の設置が求められているところです。【福祉保健総務課】</p>
2	<p>○参考資料1 具体的な取組一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画番号3「介護保険サービス利用者負担軽減対策費」</li> </ul> <p>利用者負担軽減制度を実施している社会法人は全体の何%あるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画番号11「長寿やまなし進行事業」</li> </ul> <p>高齢者社会活動推進のため「ポッチャ」をもっと活用すべきだと思う。 (介護サービスを利用している方もやり易い競技だと思うので)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画番号23「心のバリアフリー推進事業」から31「県版障害者ジョブコーチ派遣事業」</li> </ul> <p>既存計画に加えて地域に障害者の方がより入り易い方法を加えて地域との共生社会の理解を促進していった方がいい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画番号33「自動車税等の納税」等</li> </ul> <p>移動手段に苦労しているのは障害者だけではなく高齢者も同じなので、白タク利用など別の手段を考えた方がいい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画番号68「民生委員数」から70「災害ボランティア設置運営研修会及び災害ボランティア育成研修会」</li> </ul> <p>山梨DWA Tとの連携はどうなっているか確認したい。</p>	<p>介護保険サービス利用者負担額の軽減を行っている社会福祉法人の割合は、令和5年6月時点で、社会福祉法人全251法人のうち、116法人が実施しており、実施割合は46.2%となっております。【健康長寿推進課】</p> <p>ご意見のありました「ポッチャ」等先進的な取り組みについては、市町村に紹介して参ります。【健康長寿推進課】</p> <p>障害のある人が地域で安心して暮らせる共生社会を目指して、市町村や関係団体等への各事業の周知や理解促進を図るよう努めて参ります。【障害福祉課】</p> <p>介護保険制度を利用した住民互助による移動支援（訪問型サービスD）の普及促進や、訪問介護における通院等乗降介助の適切な利用等により、高齢者の移動支援に取り組んで参ります。【健康長寿推進課】</p> <p>山梨DWA Tは、本年3月に組成して以降、チーム員の追加登録など体制の拡充を進めていますが、今後、避難行動支援や福祉避難所、災害ボランティアとの連携を検討して参ります。【福祉保健総務課】</p>

No.	意見・質問内容	回答
2	<p>・計画番号80「在宅医療広域連携等推進事業費」から83「在宅医療・介護連携事業」多死社会を迎えるにあたって介護施設と地域の医療機関との連携をさらに進めるため行政には仲介役をして欲しい。</p> <p>・計画番号176「やまなし外国人相談センター運営費」相談内容で多いものを教えて欲しい。</p>	<p>県では、各保健福祉事務所において医療圏ごとに在宅医療広域連携推進会議を開催し、在宅医療、介護関係団体及び市町村と共に課題の共有や協議を行っているところです。引き続きこうした協議の場を通じ、介護施設と地域の医療機関との連携を図って参ります。【医務課・健康長寿推進課】</p> <p>やまなし外国人相談センターの令和4年度の相談件数370件のうち、相談内容で多いものは、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出入国在留管理の手続に関する相談：67件（在留資格に関する相談が多い）</li> <li>2. 雇用・労働に関する相談：18件（職場でのトラブル等についての相談が多い）</li> <li>3. 医療に関する相談：17件（「どこの病院に行ったら良いか」「どこの病院が外国語に対応しているか」という相談が多い）</li> <li>4. 社会保険や年金に関する相談：14件（国民健康保険や国民年金に関する相談が多い）となっています。</li> </ol> <p>なお、内容によっては、出入国在留管理局や労働局の相談窓口、やまなし外国人相談センターの無料法律相談、市町村の担当窓口等につないでいます。【男女共同参画・共生社会推進統括官】</p>
3	○適切な改定だと考える。数値目標は当然だが、数値化できない質も保証していただく努力をお願いします。	委員の御意見を参考に、質の把握及び管理の方法について検討していくこととしたい。【福祉保健総務課】
4	○敢えて申し上げるなら高齢者施策の推進を強力に押し進めて頂くことを希望します。	高齢者が役割をもち、生きがいを感じながら、自分らしい暮らしを続けられるよう、高齢者施策の一層の推進を図って参ります。【健康長寿推進課】
5	<p>○資料3 数値目標一覧（改定案）</p> <p>・目標番号6「介護職員数」</p> <p>介護職員の不足は、全国的な大きな社会問題です。待遇（社会的地位）のさらなる改善が必要と思います。ただ、県としては、制度的・予算的な制約で、打つ手が限られ、国主導の施策動向を見据えながら、というところであることは承知しています。それでも、介護職員の確保（新規入職や就労継続）のためのアイデアを広く集める取り組みをより活性化したら、と感じます。例えば、当事者（山梨県内の介護福祉士養成校の教職員や在校生、現職）に、できれば定期的に、アンケート（郵送法やweb調査）ではなく、県の担当官が現地での聞きとり調査（や意見交換会）を行うなど、検討してみたらどうでしょうか。</p>	<p>県では、令和5年度から介護現場革新会議を立ち上げ、養成施設や介護支援専門員協会、介護施設団体等の関係団体から現場の声を頂いております。有効な施策が実施できるよう、引き続き当事者からのご意見やアイデアを施策に反映させ、介護人材の確保・定着に取り組んで参ります。【健康長寿推進課】</p>